

# なかよし

児童中部小学校

いちょう学級だより

R4.9.9

No. 14

## 自分が安心して学習できる場所

夏休みが終わり、それぞれがんばりたいことを胸に、登校して来た子どもたち。新学期が始まるその日に、朝一番で見せてくれる表情や、聞かせてくれる言葉も、それぞれ違っていました。いちょう2組のAさんは、開口一番に、「先生！これ作ってきたんだよ！広げてみて！」と生き生きとした表情で話しかけてくれました。

いちょう学級では、夏休みの期間に、教室環境の整備を担当団で進めていました。一人一人の子どもたちの姿や、子ども同士の関係性を思い描きながら、必要な備品などについて話し合いました。そんな中、子どもたちは、久しぶりの教室にやって来て、どのようなことに気が付き、どのような感想を持ったのでしょうか。

朝の会の時間に、「みんな、何か気づいたことないかな？」と子どもたちに尋ねてみました。「分かるよ、だってね、あそこには何も無かったんだよ。」と真っ先に答えてくれたのはAさんでした。他にも、「テーブルの所が変わってるよ！」「これもだよ！」という声も次々と教室の中から聞こえてきます。

Aさんは、早速、新しく作られた環境の「居心地」を確かめていました。Aさんは以前から、自分の気持ちを落ち着かせたい時に、机の下を居場所として選ぶことがありました。その日は、新しい学習スペースでの居心地が快適なのかどうか、自分で立ったり座ったりしながら、確認している様子でした。

それから2週間が経ちます。教室で学習をしていると、「難しい」と感じることや、失敗をしてしまうことは誰にでもあることです。ある日、Aさんが、「分かんない！」と言い、向かった先は、以前のように机の下ではなく、新しい学習スペースでした。Aさんは、「いまこれ塗っているから、静かにしてくれない？」と友達に伝えながら、得意な塗り絵作品を通して気持ちを落ち着かせ、その後は中断していた学習活動にまた戻りました。

「場所」を上手に使い分けながら、学習に向かっているAさんの姿を見て、嬉しく感じました。2学期のクラス目標も、子どもたちと話し合いながら決まりました。これから子どもたちがどんな成長をしてくれるのか、楽しみです。